

協同運営委員会第3回総会

日時 2014年7月16日(水)午後6時より

場所 岡本事務所

議題 I NPO法人通常総会の報告

II 各部会からの報告

III その他

協同運営委員会第2回総会議事録より

2014年5月21日午後6時から7時 岡本事務所にて

議題Iについて

文書提案議題より(以下に添付)

1. 総会議題提案文書(要約)より

このレジュメのテーマ

「制度依存からの脱却」

事業主体の最大の目標:事業が継続できてそこで働く人、関わる人の楽しみが持続すること。

そのために必要なこと:変化していくこと。変化しなければ継続できない。同じ関係、同じ形が続くものはやがて終わる運命にある。自分達が変わらなくても周りが変わっていくから。花パン、ケアホームなどが実例。

大きな時間の流れで見てのNPO法人の継続とは:多くのNPO法人は事業を安定し成長するためのきっかけとして補助や給付事業を取り入れる。一般的に多いものは介護事業。しかし補助給付事業を継続するだけでは、やがて法制度の方が変更して立ち行かなくなることになる。こういう状況のNPO法人にとっての好ましい変化とは制度依存の割合を減らす方向の変化。

スローワークについては:現状ではまだ障害福祉制度を利用しているが、制度依存を脱却する流れをこれから作りだして行かなければならない(今後3~5年で本格化)。収入レベルで制度依存率を50%に抑えるためには売上レベルで現状の2倍(プラス年間2500万)が必要。これを5年以内の目標にすればどうか

・具体的な案は後に譲る。また新たな事業の開拓は大事。しかし何となく新しい何かがあることを期待して待つよりは、既存の場を自ら変革していくべきと考える。例えばコモンズは2号店もしくは移転も含めた計画を立てるべき。5年あれば相当な変化をこなしていける。

以上の目標設定について議決をお願いします。

【意見交換】

- ・2号店あるいは移転の話が出ているが、移転では数千万円かかるが費用のねん出についての検討が必要。
- ・目標に関して、儲けるだけではない。働く対象に対して働くことが実感できたり、意義のある仕事、事業について触れてほしい。
- ・地域で生活して、生産、流通、販売を実現することを挙げてほしい。ネット販売で儲けるだけでは、地域経済をつくれない。スローワークのミッションを中期計画でも入れるべき。
- ・最大の目的は協同で運営すること、ここから地域で経済を作るということもでてくる。
- ・何をやればもうかるか、ではなく、雇われて働くのではなく、人と人とのつながりを作り新しい生活をつくり出すという芽を作れるかどうか。コモンズハートの面白さ、スローワークらしい事業。
- ・制度依存からの脱却という言葉は、A型事業に関わっていない人にはわかりにくい。制度にかかわっていないメンバーもいる。
- ・事業計画の作る訓練として助成金に応募してみることを勧める。書類作成が勉強になる。

2. 15日就A部会議事録

<コモンズ、うたたねや、かめやんでの働き方についての検討>

※各所での働きやすさ、働きにくさについてのアンケート及び聞き取りを行なった。

- ・うたたねや、かめやんでの勤務は仕事自体にしんどさはないか。
- ・通勤時間が負担になっていないか。
- ・うたたねや、かめやんには、しんどくなった時に気軽に離れて休む場がないことも問題。

<何を作業してもらうか（継続検討）>

①店に立つ時間自体は少なくとも良いから仕入や管理作業など一人一人に責任を持たせる体制にすることで仕事への取り組みを充実させる。

②うたかめはこういうようにする、とみんなが納得できるような大きな方向性を打ち出す。そのために新しく何ができるのか一人一人が考えることを通して取組みを充実させる。

(具体案)

うたたねやとかめやんの変革。～「病院内の店」から「地域の店」へ

「地域」とは、病院の患者さんや職員さんそのまま見るのではなく、「糖尿病を抱えている人」「精神疾患を抱えている人」「精神疾患に深く理解を持ちたいと考える人」などの属性でとらえ、そういう人が多く集まる「地域」と考える。とても珍しい特殊なニーズの人が集まる地域であるので、これ自体、スローワークにとっても大きな経営資源。近所の他の精神病院や老健施設なども同じ属性の地域と考えられるので、これらの人に何ができるのか試して行けばおのずと口コミで病院外からのお客さんも増えるだろう。具体的には

- ・カロリー表示
- ・低カロリー食の開発、品ぞろえ
- ・コモンズやコモンズハートと連動しての地域生活のノウハウや物品の提供、など

その他（レジュメなし継続検討するが現時点の方向性）

コモンズ：①夜営業は、将来はオープンキッチンによる営業を狙う。スローワークの人材にしてもらってもよい。それに至る前の段階として、今後は予約営業の形にしてイベントや予約客に対応する。人材の募集。営業や管理の形は継続検討。

②昼営業は就Aのみならず、石窯その他で物作りをしたりする体制をとりオブスペースの体験の場所としても機能させる。夜営業を予約とした分、昼のランチを17時まで延長するなど考える。

*うたかめの調整や、その他の検討事項について、現在の形を6月末までとし7月から新しい形で実施。詳細をそれまでに検討し終える。

議題Ⅱについて

・就A部会は次の日程で開催された。

3月27日、4月3日、4月24日、5月15日。次回は5月29日に予定。

部会の人数はまだ増やしていないが、いずれ増やしていきたい。

・コモンズハート部会は議事録参照。5月は仕事が減っている。

・TAG部会は4月25日の生きづらさ自慢大会で参加者が40名になり、多すぎて運営が大変だった。この時の運営についてのやり取りで、しんどくなってしまった。その後復活しているが、TAGをどうするかはまだ少し時間がほしい。

・コモンズ部会は就A部会の成り行きを見て決めるという方針。ただしアンケートは実施し、就A部会でも利用している。

議題Ⅲその他について

1. 6月28日に予定しているNPO法人の総会で協同運営委員会の結成をどのように報告するかについて、議事録につけておきたい。

2. 協同運営委員会のメンバーは、NPO法人日本スローワーク協会の正会員の資格をもつ。NPOの年一回の総会について、働いているみなさんが出席できる時間帯に設定した。

6月28日（土）午後から記念講演と総会、終了後交流会をおこなう。

3. 次回会議 第3回協同運営委員会総会は7月16日（水）午後6時より、岡本事務所にて。